

時間は有限・愛は無限！？

富岡市立西中学校

三年 工藤 泰賀

「もっと時間があれば…」そう思ったことはありませんか？

私は何度もそう思ったことがあります。学校の授業、クラブチーム活動、宿題、友達と遊ぶ時間…。やりたいうことは山ほどあるのに、一日はたったの二十四時間、一年では三六五日しかありません。時間はすべての人に平等に与えられ、それは限られたものです。だからこそ、私たちは「もっと時間があれば」と感じることもあるのかもしれません。

では、もし世界が突然変わって「今から時間が無限になります。」と言われたらどうでしょう。これからは宿題も、練習も、なんでもやりたいことを好きな時間に好きなだけできる。もう「時間が足りない！」なん

て悩む必要はありません。でも、本当にそれでいいのでしょうか？時間が無限になれば、私たちは「今すぐやろう」と思わなくなるかもしれません。「また後でいいや」と思って、結局何もしないまま時間だけが過ぎてしまうかもしれません。そして「今、この瞬間を大切にしよう」という気持ちがなくなってしまうのではないのでしょうか。

私は時間が限られていることには意味があるのだと思います。限られた時間の中で、自分のやりたいことをやり、大切な人とどれだけ大切な時間を過ごせるか。それを考えたとき、私は気づきました。時間は有限だけど、私たちが無限に持っているものがある。それは、人と人をつなぐ「愛」なのではないでしょうか？

例えば、家族との時間。私はハンドボールのクラブチームに所属していて、練習や遠征などで家にいる時間が少ないことが多々あります。帰宅が遅くなることも多いのですが、ある日、母がご飯を出しながら「今日の練習どうだった？」と聞いてくれました。「辛かったな。でも楽しかったよ。」と答えると母は安心した顔

で、空の水筒を洗ってくれました。たった数分の会話
だけれど、それだけで「見守ってくれているんだな」
と思え、よりご飯があたたかくて、おいしく感じるこ
とができました。その日、ご飯を食べながら話をした
時間は、何よりも心を休ませてくれました。母も忙し
くて時間がないはずなのに、その一言や行動が私にと
って「次も頑張ろう！」と思わせてくれました。今も
ずっとそのことは胸に残っています。

ハンドボールの試合でも同じことを感じました。試
合の時間は限られていて、どんなに頑張っても、たっ
た一秒ですら伸ばすことはできません。しかし、試合
中に仲間が声をかけてくれた「ナイスプレー！」や試
合後の「お疲れ様！」などの一言には、時間を超えて
続く「愛」があります。仲間やコーチの支えがあった
からこそ、負けたときの悔しさも勝てたときの嬉しさ
も分かち合える。限られた試合時間の中で生まれた「愛」
は、終わった後でもどこかでずっと続いていくのです。
いまの世の中は時間に追われ、多忙な日々を過ごし
ている人ばかりです。時間が足りなかった、もっと時

間があれば：たくさんの不満であふれています。しか
しふとまわりを見てみると、私たちの毎日は「時間に
縛られている」ようで、実は「時間を超えるもの」に
もあふれているのかもしれない。限られた時間の中
で、私たちは無限の「愛」を届けることができる。時
間はいつか終わるけれど、そのときに誰かに伝えた優
しさや感謝の気持ちは、きつとずっと残っていくはず
です。

だからこそ、私は「時間が足りない」と嘆くのでは
なく、限られた日常という時間の中で、自分のやりた
いことに向かって努力し、そんな中で大切な人にどれ
だけ愛を伝えられるかを考えたいと思います。「ありが
とう」「がんばれ」「大好き」たった一言や行動でも、
それは誰かの心の中に残り続け、その人を励まし続け
ます。愛は時間を超える力を持っています。

時間は有限。でも、愛は無限。
あなたは今日、大切な人にどんな愛を届けますか？